

ちくさええとこ通信

2025.5.15 発行

No.30

ご入園・ご入学

おめでとうございます



ちくさ杉の子こども園



千種学園千種小学校



千種学園千種中学校

ピッカピカのちくさっ子！
いっぱい遊べちくさっ子！
いっぱい学べちくさっ子！
でっかい夢に向かって
羽ばたけちくさっ子！
みんなーがんばれー！！



千種高等学校



ちくさ杉の子ども園

《教育目標》

げんき・えがお・おもいやり

《基本理念》

健やかな子どもの育ちを支えるために豊かな人間性の育成と生きる力の基礎を培うことを目指す

新学期が始まり1ヶ月が過ぎ、新入園児も進級児も新しい生活や環境に慣れてきました。部屋からは♪ありさんのおはなしきいたかね♪あるこうあるこうわたしはげんき〜♪と楽しそうな歌声も聞こえ、園庭に出ると春の自然の中で桜の花びらや草花を色水にしたり、虫探しをしていたりいろいろな遊びを楽しんでいます。



1・2歳児

新しい環境に慣れ、絵本を見たり、仲良く一緒に遊びを楽しんでいます。



3・4歳児

園庭では追いかっこや綱引きをしたりして体を動かし、毎日にぎやかに過ごしています。



5歳児

毎月の誕生会に向けて、プログラムや紙粘土でケーキを作りました。司会は、毎年5歳児が担当します。



ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかわって学び「ふるさと千種」を愛する心を育てています

千種小学校



☆令和7年度 千種小学校 入学式

9名の新生を迎え、入学式を行いました。来賓の方々にも出席していただき、全校生で新生を迎えることができました。新生は元気いっぱい、名前を呼ばれるとはっきりと大きな声で返事をする事ができました。また、前を向いて校長先生や来賓の方の話の話を聞きました。在校生も、新生との遊びやふれあいを心待ちにしています。



☆初めての給食&新生歓迎会

千種小学校では、異年齢のつながりを大切にしていることから、全校児童を縦割りの6つのグループ（ファミリー班）に分けています。学校行事や児童会活動、清掃などをこのグループで行います。

4月には、1年生にとって初めての給食がありました。その準備を6年生が手伝ってくれました。また、5月には新生歓迎会を行いました。雨天のため遠足は中止となりましたが、体育館や校舎内で、6年生が考えたゲームを楽しんだり、ファミリー班ごとに仲良くお弁当とおやつを食べたりしました。



今年も「いま、力いっぱい～あしたに種をまこう～」を合い言葉として、みんなで仲良く力を合わせて成長していきたいです。

千種中学校

入学・進級おめでとう



【7年生 参観授業】

【7年生】

担任の号令のもと、お家の方に見守られながら集団行動をしているところです。教科ごとに替わる教科担任にも慣れ、元気に中学校生活を送っています。

【8年生】
14名で心を合わせて一歩を踏み出しました。千種中学校の柱として9年生を支え、7年生の手本となり学校を盛り上げていきます。



【8年生 初めの一歩】



【9年生 生徒総会】

【9年生】

千種中学校の顔として各行事で活躍しています。4月24日に実施した生徒総会では、卒業した先輩から引き継いだ生徒会規則の髪型や服装の改革を実現しました。

第37回全国高等学校選抜スキー大会で大健闘！【スキー部】

令和7年3月4日（火）～7日（金）に長野県山ノ内町志賀高原 西館山FIS公認コース・ジャイアントFIS公認コースにおいて第37回全国高等学校選抜スキー大会が開催され、本校から兵庫県を代表して山本 陽（千種中出身）が出場しました。3月5日（水）はスーパーGと呼ばれる種目で、この日は途中から天候が悪化し大会はキャンセルとなりました。3月6日（木）はジャイアントスラローム（GS）に出場し、1本目は57位、2本目は無念のコースミスという悔しさが残るレースとなりました。3月7日（金）はスラローム（SL）に出場し、前日の悔しさを晴らす渾身の滑りができました。1本目は38位、2本目は34位、トータルで31位という素晴らしい結果でした。近畿勢でも2番目、兵庫県ではトップの成績でした。本当によく頑張りました！

千種高等学校



総合的な探究の時間 成果発表会



令和7年4月25日（金）9：10～12：20に「総合的な探究の時間」成果発表会が千種高校 体育館において行われました。活動に協力いただいた地域の方々や企業の方をお招きして、2・3年生が1年間活動してきた内容、成果について発表が行われました。2年生は、自らが育てたお米の活用班（水田管理、販売、寄贈、米麴、お菓子、おにぎり、石鹸）別に発表を行いました。3年生は、個人やグループで研究したいテーマについて探究活動の成果を発表しました。特に「宍粟市」についての研究テーマが数多く取り上げられ、生徒たちが、「宍粟市」の未来について考えるテーマを設定していたことが、深く印象に残る発表会となりました。

わ
れ
ら
ち
く
さ
の
こ
ら
い

わ
れ
ら
ち
く
さ
の
こ
ら
い

ちくさええとこ



前回のちくさええとこ通信 (No. 29) でお知らせしましたように、1月29日に第6回設立準備委員会を開催し、組織体制や規約、まちづくり計画について、委員のみなさんに最終確認いただきました。また、投票により新組織の名称は『ちくさええとこ協議会』に決定しました。



そして、2月24日午前中にライブリーちくさにおいて「千種まちづくり推進委員会 臨時総会」が開催され、上程された議案を慎重審議いただいた結果、千種まちづくり推進委員会の発展的解散が承認されました。



午後からは、多くのご来賓や町内外から70名余りの参加者を迎えて、地域運営組織「ちくさええとこ協議会」の設立総会を開催しました。新組織設立にあたり、福元市長と島根大学作野教授から祝辞をいただきました。その後、これまでの経過報告及び議事が進行され、「規約」「役員」「まちづくり計画」「事業計画並びに収支予算計画」が承認されました。

田住会長は、「ちくさええとこ協議会は、多くの地域課題について検討し、連携しながら解決を目指していく組織であること。また、まちづくり

アンケートや未来会議から導き出された『まちづくり計画』を元にして、これから地域が望むことややりたいこと、できることを地域自ら考え実践していく“自主自立のまち”を目指していこう」と熱く語られました。



こ協議会、始動

設立総会后に、5回目となる「ちくさええとこ未来会議」を開催しました。最初に福元市長が「参画と協働のまちづくり」についての思いを語られました。まちづくり講演会では「ちくさええとこ協議会の役割と未来像」というテーマで、島根大学の作野教授にリモートでお話いただきました。



2022年の自治会実態調査結果から、担い手不足や役員の負担など千種の現状と地域運営組織の必要性について説明していただきました。今後、地域の暮らしを維持するためには、「やりたいこと・やれること・やるべきこと」の重なる部分を楽しみながら取り組んでいくことが大切で、ちくさええとこ協議会には、地縁組織である自治会ができない部分を補うことが期待されます。他の地域と比べるのではなく、千種らしくみんなでワイワイ

と取り組んでいくことが大切であり、地域にとって最も怖いことは、自分の住む地域への愛情を無くし、あきらめてしまうこと。『心の過疎』である。「あきらめ」ではなく「誇りの醸成」が大切である、と締めくくられました。



柏木アドバイザーによるメインの意見交換会は、～みんなで作ろうこれからのちくさええとこ協議会～というテーマで、「私にできること・やってみたいこと・これからの楽しみ・期待すること」などについて、7～8名グループで話し合いました。後半は、各自気になったテーブルに移動したり、普段は話す機会のない方々との交流を楽しみました。最後に各グループ内でまとめた意見の発表を行い、「子どもの遊び場の充実」や獣害対策「イノシカサル庁の設置」、住民の集い「町民運動会の復活」や情報発信「ユーチューバーになる」など様々な意見が出され、参加者から大きな歓声が上がっていました。

当日は、神戸新聞社・しそチャンネルの取材もあり、ご覧になられた方も多いと思いますが、会場は熱気に満ちあふれていました。ちくさええとこ協議会は、この未来会議を「多様な人材が集い、意見交換を行う機会」として重要な位置づけとしています。さらに多くの人に参加してもらえるよう、定期的で開催していきます。7月6日(日)に開催する総会の後にも、予定していますので、ぜひ、誘い合ってご参加ください。



千種が大好きな方を大募集

千種の2大イベントといえば、夏に開催される「妙見夏まつり」、そして、秋に開催される「ちくさふれあいフェスタ」です。



「ちくさふれあいフェスタ」は、毎年10月20日以降の最初の日曜日に開催され、町民運動会に代わるイベントとして定着してきています。各種団体の代表者からなる実行委員会を組織し、各種団体と地域住民の手づくりによるイベントとして、気軽に参加できる企画を検討しています。今年は、「ちくさえとこ協議会」が設立されたことにより、より良いイベントになることが期待されています。



そこで、今回、この2大イベントのボランティアスタッフを募集します。イベントに興味のある方、人とのふれあいが好きな方、そして、何よりも千種が大好きな方、ぜひ、一緒に楽しみましょう♪
お問い合わせ先：ちくさえとこ協議会（ちくさえとこセンター ☎ 0790-71-0230）

【板馬見山山開き登山】

5月3日（土）憲法記念日、晴天の下「板馬見山山開き登山会」が行われました。毎年、板馬見山保存会の主催で行われているもので、千種行者講の行者と一緒に標高1344.56mの板馬見山（後山）に登ります。

朝一、集合場所となっている松の木公園に続々と参加者のみなさんが集まってこられました。千種行者講の行者による安全祈願の後、高山政信会長のあいさつがあり、安全登山を願って乾杯。今回も宍粟市内外から20名以上の参加者があり、福元市長・大田市民局長も駆けつけて激励の言葉をかけられました。



行者たちは、祀られている所々で般若心経を唱え、一緒に登山道を進みます。途中の分岐点で、自信のある方は上級者向けの「行者コース」へ、初心者・中級者は「島谷コース」へ。新緑が眩しく、小鳥のさえずりや啄木鳥の音も心地よくて、登山のしんどさも忘れるほどでした。（島谷コースの感想）



お昼前に一人の脱落者もなく頂上へ到着。山頂にある祠の囲いを解放し、拜んで山開きとなりました。良い天気だったので、運が良ければ「瀬戸内海が見える」と聞いていましたが、残念ながら春霞で見られず。帰り道は、おごしき山を通る「大馬鹿門コース」で下山しました。

山開き登山会は、毎年11月3日に行われます。みなさんも、いかがでしょうか。また、「千種行者講」に興味のある方は、ぜひ、ご連絡ください。



歴史探訪



3月30日（日）に雪の舞う中、「第1回千種町内 文化財めぐり」が開催されました。ここ千種には、貴重な史跡や文化財が多数存在しています。こうした歴史遺産をめぐり、専門家の詳しい解説を聞くことのできる今回の現地見学会は、西播磨歴史研究会の主催で初めて企画されました。初回は、岩野辺でのフィールドワークで、千種町内だけではなく県外からの方も合わせて10名余りの参加者がありました。



<見学行程>

- 「金屋子神址」～「荒尾宝篋印塔」～「荒尾鉄山跡」～
- 「室谷宝篋印塔」～「穴の尾銅鐸」出土地～
- 「円ノ元天然記念物アスナロ」～「播磨国風土記」記載地～
- 「二宮神社廻り舞台」～「新宮宝篋印塔」

参加者たちは現地での説明に熱心に耳を傾け、「敷草の村」が歩んできた姿を学ばれていました。盛んに質問をされる方や歴史に感動されている方などそれぞれで、大変貴重な文化財めぐりとなりました。第2回の開催がとても楽しみです。



「西播磨歴史研究会」主催
第1回 千種町内「文化財めぐり」
「敷草の村」が歩んできた姿を学びませんか？

千種町内には、貴重な史跡や文化財が多数存在しています。今回は、西播磨歴史研究会の主催で初めて企画されました。こうした歴史遺産をめぐり、専門家の詳しい解説を聞くことのできる今回の現地見学会は、西播磨歴史研究会の主催で初めて企画されました。初回は、岩野辺でのフィールドワークで、千種町内だけではなく県外からの方も合わせて10名余りの参加者がありました。

多くのみなさんのご参加をお待ちしております！

日程 令和7年3月30日（日）
開会時間 午前8時～12時（解散予定）
集合場所 エーガイヤちくさ（完備市千種町室）
ガイド 西播磨歴史研究会メンバー
開催 令和7年3月22日（土）

参加 無料

見学予定地
金屋子神址 → 荒尾宝篋印塔 → 荒尾鉄山跡 → 室谷宝篋印塔
→ 穴の尾銅鐸出土地 → 円ノ元天然記念物アスナロ → 播磨国風土記記載地
→ 二宮神社廻り舞台 → 新宮宝篋印塔

ご予約・お問い合わせ：ちくさえとこセンター
0790-71-0230
https://chikusanet.net/

ペンリレー 第19回

渋谷友香さん

Q 自己紹介

田舎暮らしが大好きで大阪から15年前に千種町河内に移住した渋谷友香 80歳です。

Q お仕事は何されてますか？

無職です。家で猫の世話をしています。



Q 趣味は？

草むしりをする事です。

Q 何をしている時が一番楽しいですか？

花の観賞とロックンロールを聴いている時です。特に宇崎竜童が大好きです。

Q 夢は何ですか？

休耕田の半分でも花を植える事です。

Q 千種町への思いは？

雑木山がもう少し増え、野生動物と仲良くできたら・・・。
移住先を千種に決めた理由を短歌で一句
『山里を終のすみかと決めし時
千種というは良き地名なり』

Q 次回の紹介者は？

清水光代さん。



～花ものがたり～

みなさんは、「光都チューリップ園」へ行かれたことがあるでしょうか。播磨科学学園都市（通称：テクノポリス）にあり、例年4月には「チューリップフェア」が開催されています。約5,000平方メートルの敷地に、今年は6色15種類と色とりどり約4万本のチューリップが花開き、訪れた人々の目を楽しませました。

西播磨地域の住民や団体、近くの小・中学校の児童・生徒などが、毎年11月下旬にボランティアで球根の植え付けを行っています。こうした住民参加の活動は、“地元愛”の詰まった西播磨の名所のひとつにもなっています。



千種町内の団体では、長年参加されてきた岩野辺「白百合会」のみなさんの後を受けて、「あうん花畑」のみなさんさんが3年前から参加されています。「千種まちづくり推進委員会」も5年ほど前から、有志の方々の協力を得て参加しており、今春は新たに「ちくさえとこ協議会」のチューリップとして咲き誇りました。（実は、まち推も「白百合会」から教えただいて参加し始めました）



また、開花時期を過ぎて各々で掘り起こした球根は持ち帰ることができ、次の年は各地域で人々を楽しませています。みなさんのグループでもいかがでしょうか。

お問い合わせ：播磨高原広域事務組合

TEL0791-58-0575



あうん花畑



しらゆり会



七野

♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

赤ちゃん写真大募集!

新しい可愛い家族を紹介してください。



岩野辺
杉本 ぜん
善ちゃん

【メッセージ】 家族みんなを明るく笑顔にしてくれてありがとう♡善くんの心が幸せで満たされますように♡毎日楽しくいっぱい笑おうね!
(父：勝さん 母：千里さん)



千草
木梨 ららは
愛心ちゃん

【メッセージ】 ららはちゃん 産まれて来てくれてありがとう♡いつもニコニコご機嫌元気いっぱい楽しく大きくなってね♡♡
(父：勝之さん 母：樹梨さん)